

「車いす空の旅 沖縄」への招待者をお見送り ～県遊協職員がボランティアとして3回目の参加～

神奈川県新聞厚生文化事業団が主催する「車いす空の旅 沖縄」事業が、4月9日から11日まで今年も行われました。

この出発に向けて、平川正寿神奈川県遊技場協同組合理事長・神奈川県福祉事業協会会長は、羽田空港ロビーにおいて車いす生活の障害者20人とその家族、ボランティアなど総勢72人をお見送りし、旅行中の無事と楽しい思い出を残されるよう挨拶をいたしました。

| | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成21年4月9日（木）午前9時30分から |
| 2. 場 所 | 羽田空港第1ターミナル出発ロビー |
| 3. その他 | <p>「車いす空の旅」は、神奈川県新聞厚生文化事業団を主催として昭和60年から毎年2回、春は沖縄、秋は北海道へと、車いす生活のため、旅行の機会に恵まれない障害者を招待しているもので、神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会はこの事業に対し、継続して毎年300万円の支援を続けてきております。</p> <p>平川会長は、初めての空の旅に胸をふくらませて集まった障害者や家族、ボランティアの方々に一人ひとり声をかけ、出発式では、「沖縄のきれいな海をぜひ楽しんできて下さい。楽しい思い出となるようにお祈りいたします。」と挨拶し、笑顔でお見送りをいたしました。</p> <p>また、空の旅には神奈川県遊技場協同組合の職員が、今回もボランティアとして参加しました。</p> <p>「今回で3回目のボランティア参加となりますが、参加者の方々や、ボランティア全員のチームワークで、事故の無いように楽しく過ごしていただけるようがんばってきます。」と笑顔で旅立ちました。</p> |



羽田空港ロビーにて、皆さんをお見送り。